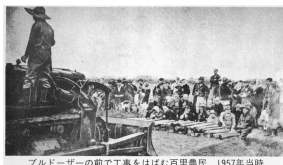


68年を超えて続く基地反対運動

1939年～	海軍航空隊の「百里原飛行場」開設 戦時中に数次にわたって拡張
1947年～	敗戦後に、飛行場を開拓地として解放
1955年 6月	幡谷仙三郎小川町長、百里原に自衛隊基地の誘致運動開始
1956年 5月	防衛庁、百里原に航空自衛隊の基地設置計画を発表
1956年 8月	百里基地反対期成同盟と愛町同志会（12月）を結成
1957年	幡谷町長リコール運動（1月） 基地反対派の山西きよ氏、町長に当選（4月）
1957年 9月	ブルドーザーなどの進入阻止のための座り込み
1958年 5月	防衛庁、基地建設資材の大量搬入を強行 機動隊介入
1958年 7月	百里裁判開始
1959年 1月	山西町長リコール成立 基地誘致派の町長当選（3月）
1963年 4月	滑走路予定地内の11戸が土地を防衛庁に売却
1964年 9月	「百里基地反対期成同盟」解散 10月 「百里基地反対同盟」再建
1965年 1月	基地の滑走路が完成
1965年 3月	百里の支援・共闘組織「百里基地懇談会」が結成され、一坪運動開始
1965年12月	F104戦闘機の配備開始
1966年 2月	初午祭りを開催 以後毎年恒例になる
1967年 2月	F104戦闘機が美野里町納場に墜落
1972年 3月	都内の学生数百名が年末までに援農に入る
1972年 3月	F104からF4ファントム戦闘機に配備替え開始
1976年 2月	射撃場に「自衛隊は憲法違反」の大看板を設置
1977年 2月	百里裁判一審判決 自衛隊の憲法判断を避け民事で国側を勝訴させる
1978年 9月	百里基地反対連絡協議会（社共統一）結成し現在に至る 新一坪運動開始
1981年 7月	百里裁判控訴審判決 自衛隊の憲法判断を避け、国側を勝訴させる
1984年～	F4ファントム戦闘機からF15イーグル戦闘機への配備替え開始
1984年10月	10・21全国統一行動の日百里基地を人間のくさりで包囲する大集会開催
1987年10月	一坪運動地を平和公園にする計画を発表 募金運動開始
1988年 3月	百里平和委員会結成
1989年 2月	百里平和公園完成
1989年 6月	百里裁判上告審判決 自衛隊の憲法判断を避け、国側を勝訴させる
1990年 6月	百里基地で最初の日米共同訓練を実施
1991年 8月	百里ピースキャンプを開始（平和公園で）
1992年 8月	竹内茨城県知事、関西茨城県人会で百里基地の民間共用化構想を提起
1994年 5月	百里平和農園で、米づくりを開始 百里平和委員会、農民連青年部、民青など
1997年 3月	平和地主運動を開始
1998年 3月	防衛庁、運輸省、県の三者が「新滑走路を作って共用化」で合意
2001年 4月	百里基地の民間共用化事業が始まる
2007年10月	1回目の訓練移転（日米共同訓練を実施）
2010年 3月	「茨城空港」開港
2012年 8月	第1回百里平和盆踊りを開催
2015年 5月	「射撃場」を「九条の丘」と命名
2016年 7月	「百里を語る会（学習会）」開始（10回実施）
2018年11月	一般社団法人「百里の会」発足
2021年 8月	危険な欠陥機オスプレイの訓練基地にされる
2022年 4月	「九条の丘」の「自衛隊は憲法違反」の大看板を更新



ブルドーザーの前で工事をはばむ百里農民 1957年当時



滑走路完成直前 1964年当時



挨拶する山西きよさん



百里基地反対同盟



1989年6月 最高裁前



2015年9月 基地正門前抗議



2022年4月 大看板更新



作成：百里基地反対同盟・一般社団法人「百里の会」 2023年6月発行
連絡先：「百里の会」水戸市見川5-127-281 TEL 080-9457-6381

百里基地反対運動のHP
あります。検索でGO！

百里



初午まつり(平和公園)



九条の丘(射撃場)に立つ大看板

「くの字」に曲がった誘導路と平和公園

百里の闘いと言えば、基地のど真ん中であって誘導路を「くの字」に曲げている「百里平和公園」が世界の名物になっています。平和公園からは、アメリカの世界戦略に深く組み込まれ、米軍との共同訓練も行っている戦闘機が目の前で右ハンドル左ハンドルと、「くの字」に曲がって行く様子を見ることができます。日本国憲法九条のもとで「自衛隊は憲法違反」を掲げて闘ってきたからこそ、この平和公園をつくることができました。平和公園に立てば、憲法九条の存在意義を実感することができます。

68年を超えて続く基地反対闘争

「基地がなければ戦争はできない」「戦争のために土地は売らない」と、1955年から65年以上も闘い続けてきた百里基地反対同盟とその仲間たち。憲法九条を高く掲げ、平和を守り築いてきた全国の多くの人々に支えられてきた百里の闘いは、日本の平和運動・基地闘争・安保条約廃棄の闘争の中で重要な位置を占めています。

民間共用化（茨城空港）と基地の拡大・日米共同訓練

2010年、百里基地内に新滑走路を建設して「茨城空港」が開港しました。航空自衛隊の実戦基地である百里基地は民間機用との名目で新たな滑走路を得ることにより、基地機能の拡張に成功しました。しかし、安全最優先の旅客機と危険な訓練をする戦闘機の同居はとても心配です。また1990年に日米共同使用基地になり、日米共同訓練が実施されています。2022年からは米軍に加えて、カナダ、ドイツ、インド等の空軍と共同訓練が実施され、危険性が増大しています。

見て、感じて、考えて下さい

このリーフを参考に、「百里」に来て、戦争・平和・九条の現実を見て、感じて、考えて下さい。